

第2学年7組 英語科学習指導案

日 時 平成25年9月10日（火）
指導者 教諭 瀧川 尚樹

1 題材名 「Robot Contest」 (ONE WORLD English Course2 : Lesson4)

2 題材について

(1) ねらいについて

本題材は、今昔のロボットを話題としている。ロボットに興味を持っているジンが、ロボットを自分たちの手で製作したいとケンタやアヤに提案する。各パートの内容は、1では国際ロボットコンテストへの参加募集のウェブサイトに掲載し、2ではジンがロボットコンテストを見学した感想を述べる。3ではジンがウェブサイトでからくり人形についてケンタに紹介する。4では、ジンがメイに災害救助用のロボットを紹介する。マンガや映画の世界でのイメージが強いロボットが、現実の世界で活躍していることを生徒が知る良い機会となる。

言語材料としては、動名詞、I think(that)節、接続詞when、接続詞ifが初出となる。2つの文を1つの文にする接続詞の学習を通して、これまで以上に英文の中に詳しい情報をつけ加えることが可能となる。またI think(that)節は、自分の思いや考えを述べるのに適した表現であり、生徒の自己表現の広がりも期待できる。

(2) 生徒の実態について

本学級は生徒の学力差が大きく、特に英語を苦手としている生徒の学習意欲が低下している。全体として、長文を読むことや英作文でまとまりのある英文を書くことに対する苦手意識が見られる。コミュニケーション活動には、おおむね意欲的に取り組むことができる。

(3) 指導にあたって

- 本題材では生徒が「自分の好きなこと・もの」について英語でスピーチすることを目標とし、その達成に向けて段階的な指導を行う。
- 本題材で学習する動名詞は、1年時に学習した現在進行形との混同が予想されるので、復習を取り入れながら整理して教える。
- 接続詞の用法を正しく理解させるにとどまらず、自由英作文の中で使用させることで、確実な定着を図る。
- 学力差への対応として、ペア学習を取り入れ、英語を苦手としている生徒たちが支援を受けやすい環境をつくる。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・表現の土台となる文法事項の定着を図るために、新出文法事項の説明・練習の場面でパソコン（プレゼンテーションソフト）、プロジェクターとスクリーンを活用して、生徒が視覚的にとらえられるようにする。

②生徒の活用

- ・生徒のスピーチ発表において、音声情報だけでなく視覚的な情報も提示できるように、実物投影機を使って、関連のある写真・イラストなどを提示させる。

3 題材の目標

- ・好きなことや、楽しんでいることなどを説明することができる。
- ・自分が思っていることを述べることができる。
- ・いつ何をするかを具体的に述べることができる。
- ・接続詞（when、 if、 becauseなど）の正しい用法を理解することができる。

4 題材の評価規準

コミュニケーション への関心・意欲・態度	①自分の思いを積極的に表現しようとしている。
表現の能力	①「自分の趣味」について英語でスピーチすることができる。 ②自分の考えや意見を英語で表現することができる。
理解の能力	①教科書の文を聞いたり読んだりして、内容を理解できる。 ②友達のスピーチを聞いて、内容を理解することができる。
言語・文化に関する 知識・理解	①接続詞（when、 if、 because）の正しい用法を理解できる。 ②動名詞の正しい用法を理解できる。 ③新出単語の正しい発音・意味を理解できる。

5 指導計画および評価基準（10時間取扱い）

時	主な学習活動	指導上の留意事項	関	表	理	知	評価基準・評価方法
1	Lesson4 新出単語	フォニックスのルールに触れながら自力で発音できるようにする				○	新出単語の正しい発音・意味を理解できる(観察)
2 本時	動名詞 (好きな事を表現しよう)	動名詞の定着を図るため繰り返し練習を行う		○			動名詞を用いて自分の好きなことを英語で表現できる
3	I think～.の文 (自分の思い・考えを述べよう)	I hope～.やI know～.の文も関連させて指導する		○			自分の考えや意見を英語で表現することができる (ワークシート)
4	接続詞whenの文 (いつ何をするか述べよう)	文頭で使う場合と文尾で使う場合の両方を指導する				○	接続詞whenの正しい用法を理解できる(ワークシート)
5	接続詞ifの文 (自分の考えを述べよう)	接続詞whenと関連させて指導する				○	接続詞ifの正しい用法を理解できる(ワークシート)
6	教科書Part1・Part2 内容理解	発問を工夫することで、ポイントをしっかりと聞き取り・読み取りをさせる			○		教科書本文の内容を聞いたり、読んだりして理解することができる (ワークシート)
7	教科書Part3・Part4 内容理解	発問を工夫することで、ポイントをしっかりと聞き取り・読み取りをさせる			○		教科書本文の内容を聞いたり、読んだりして理解することができる (ワークシート)

8	自由英作文 「私の趣味（好きなこと・もの）」	本単元で学習した文法事項をどのように英作文に生かすかを助言する	○			自分の思いを積極的に表現しようとしている (観察・ワークシート)
				○		自分の好きなこと・ものについて英語で書くことができる (ワークシート)
9	スピーチ発表 「私の趣味（好きなこと・もの）」	スピーチを行う際の留意点を明確に示すと共に、聞く側にも情報をメモするように指示する		○		自分の趣味について英語でスピーチすることができる (観察)
					○	友達のスピーチを聞いて内容を理解することができる (ワークシート)
10	Lesson5単元テスト	本時で学習したことの定着度を確認し、必要に応じて補充指導を行う				○ 接続詞や動名詞の正しい用法を理解することができる (ペーパーテスト)

6 本時の学習

(1) 目標 動名詞の正しい用法を理解し、自分の趣味について英語で表現することができる。(具体的な情報を加えて3文程度で)

(2) 展開

課程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童生徒の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 15分	1 復習 (帯活動) 2 新出文法の導入 (T) A L Tの先生の自己紹介を聞いて情報をつかみましょう。 (T) (名前、年齢、出身地等を英語で尋ねた後) What does she like doing in her free time ? (C) She likes ~ing .	・自己表現につなげるために動詞句の復習を行う ・事前に撮影したA L Tの自己紹介の動画を見せる ・聴き取り後は、英文を文字でも示して、内容を確認する (～ingの部分に注目させる) ・A L Tが生徒の趣味を知りたがっているという設定で、その後の活	音声CD P C プロジェクタ スクリーン
課題 (めあて)「～すること」の表現を用いて、自分の趣味を述べよう			
展開 30分	3 文法の確認 (説明・練習) (1) 動名詞の意味・用法の説明 (T) 動詞のing形を復習しましょう (C) make…×makeing、○making swim…×swiming、○swimming (2) 口頭練習① (チャンツ) A:What do you like doing in your free time ? B:I like <u>playing soccer</u> in my free time. (T) リズムに乗せて発音しましょう (3) 口頭練習② (パターンプラクティス) (T) チャンツの下線部を様々な表現に置きかえて発音しましょう (4) ライティング練習 (T) 次の日本語を英文に直しましょう 4 自己表現 (英作文・発表) (T) 動名詞を使って、自分の趣味 (好きなこと) について、具体的な情報なども足して書きましょう (T) ペアで英作文を読み合ひましょう (T) 良く書けている英作文を紹介してもらいます (意図的指名)	徹底指導 (ポイント) 口頭練習で繰り返し、動名詞を含んだ英文を発音させることで定着を図る ・口頭練習をテンポよく行うためにパワーポイントでイラストと文字を示す ◆表現 (ワークシート) B基準 動名詞を用いて、自分の趣味を表現することができる A基準 動名詞を用いて、自分の趣味とその具体的な情報を加えて英語で表現することができる 〈B基準に達しない生徒への手立て〉 例文を提示し、単語を入れ替えることで英文を作らせる 能動型学習 (ポイント) ・学習した文法事項を実際の表現活動で活用することができる 【言語活動】説明 自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えることができる	P C プロジェクタ スクリーン
終末 5分	5 まとめ (評価・家庭学習課題確認) (T) 友達の英作文の良い点を参考にして、もう一度「自分の趣味」について、ノートに書いてきましょう	・良く書けている英作文を実物投影機で写して紹介する	実物投影機

